

指針で目指す方向 (旧 指針) 主に外国人への生活支援

(新 指針) 外国人への生活支援を基礎としつつ、外国人と共に学び、共に活躍できる地域を創る

1 主な現状と課題

2 施策の方向性

3 課題の解決に向けて取組む施策

しんしゅう多文化共生新時代で目指す社会

- 多文化共生施策を実施している市町村
- ・45市町村

多様性を活かした持続可能な地域づくり



多文化共生モデル地域の創出と発信

地域住民の自立的・主体的活動の推進

外国人等の活躍・交流活動の推進

- ・多文化共生に積極的に取組む自治体を「モデル地域」に指定し、支援 [県文]
- ・好事例を積極的に発信 [県文]
- ・支援や交流のためのボランティア登録 [県文]
- ・留学生等と県内企業のマッチングを実施し、県内への就職を支援 [産労]
- ・留学生が就労するための「在留資格」変更の説明会実施 [産労]

多文化共生に取り組むところがたくさんある

地域での交流がどんどん増える

誰でもどこでも活躍できる

- 日本語教室がある市町村
- ・31市町村
- 日本語教室の主催者
- ・約6割はボランティア

学びとコミュニケーションによる地域づくり



外国人児童生徒等の日本語教育の充実

地域における日本語教育の充実

やさしい日本語の普及

- ・日本語指導が必要な外国人児童生徒への教員を加配 [教育]
- ・日本語教室を支えるための人材（日本語交流員）養成 [県文]
- ・日本語教育や多文化共生を進める「人材バンク」創設 [県文、産労、教育]
- ・新たな日本語教室設置への助言 [県文]
- ・「やさしい日本語」を、地域・企業・学校・行政へ普及 [県文、産労、教育]

すべての外国人児童生徒が日本語教育を受けられる

日本語や文化を学べる場所が増える

みんなが「やさしい日本語」について知っている使ってる

- 外国人が求めていること
- ①多言語での情報提供、相談体制の充実
- ②日本語の学習支援
- ③労働環境の改善
- ④医療・保健・福祉施策の充実

誰もが暮らしやすい地域づくり



情報の多言語化

相談体制の充実

労働環境の整備

生活支援（医療・住宅・防災等）

- ・県公式ホームページの多言語化対応 [企画振興]
- ・外国人にもわかりやすい案内標識整備 [建設]
- ・県の相談窓口の多言語化対応、市町村の窓口開設を支援 [県文]
- ・企業に対する相談体制の充実 [産労]
- ・在留資格制度や外国人雇用のルール等の相談会実施 [産労]
- ・外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関を選出、公表 [健福]
- ・外国人向け防災対策講座開催・災害時の支援訓練実施 [危機、県文、観光]

いろいろな言葉で情報が提供されている

困った時に相談できる

災害が起きたらどうすればいいか知っている

安心して病院に行くことができる

住むところに困らない

安心して働くことができる

- 関係機関の連携が弱い

多文化共生推進体制の整備（多様な主体との連携体制の構築）

- 施策を進める根拠法令がない

《国への要望》

多文化共生に係る基本法の制定

- ・多文化共生を一元的に担う組織の設置
- ・外国人が安心して働き、暮らしていくための様々な施策の充実（公的な日本語学習制度、子どもたちの教育体制、安心して受診できる体制の整備等）

支援や交流のために活動するボランティア・地域住民が増える

地域活動に積極的に参加する外国人が増える

地域の担い手が増える

誰もが活躍できる地域が元気になる